

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

のぞみ

日付 平成 20年 2月 18日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 介護支援専門員経験5年

評価調査員 在宅介護経験15年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

食卓にホットプレートを置いて、昼食のお好み焼きを作り始める。リビングのテーブルを囲んで、利用者達は全員興味津々で見ている。「さわると熱いよ。さわらないでね」職員に言われて「どれ、どれ、まだ大丈夫」とさわろうとする人もいる。「これ何?」「お好み焼きよ」「昔食べた事ある。ここで焼けるの?」わいわい賑やかだ。「できてる、できてる」「すぐ焼けるから待っててね」「はい、待ちま~すよー。いつまでもー」ついには歌い出す。わくわく楽しくてたまらない様子だ。お好み焼きを職員がひっくり返すと、「よっこらしょ、えいこらしょ」利用者は掛け声かけて応援する。美味しそうな焼き色が付いて裏返せると「皆さん、上手、上手」とパチパチ拍手してくれる。「まあ嬉しい、張り切ってしまうわぁ。誉められると、だんだんひっくり返すの上手になるわ、職員は本当に喜んでいる。焼き上がったら次々と利用者に配膳していく。お好み焼きにトッピングされた紅生姜が気になり、真っ先にお箸でつまんで口に放り込み、あらら? の顔する人が居て皆で大笑い。「ええ味、美味しい。このお姉さんが作ったんよ」にこにこしながら職員を指差すと、「愛情込めたんよ」すかさず職員が返す。何枚でもお替わりどうぞ」「これ以上食べれんかも」「食べてもらえんかったら、どうしよう。ショックだわぁ」他の職員が「食べたげんとほら、気にしとるよ」と受ける。職員の受け方が自然で実にうまい。知らず知らずのうちに利用者も活気づく。ひと口食べた利用者に「いかがでしょう?」「美味しいよ」「よかった」笑顔の輪が広がる。狭いリビングに、食欲をそそるお好み焼きの匂いが立ちこめて、利用者達と職員互いの声も表情も近くて、よく分かり合える。ここがグループホームである事を忘れてしまいそうなくらいに、家庭的な雰囲気が漂っている。このホームは、池田医院の福祉介護施設を平成13年にスタートさせた原点である。現在は、職員の資質の良さと安定した生活を、ホームの特長として挙げたい。母体法人の病院は、昔から地域の医療・福祉への造詣が深く、地域に貢献してきた。同一法人の5つのグループホーム・通所リハビリテーション・通所介護・診療所が互いに連携を取り合い、高い水準のサービス提供をしていることも、このホームの強みとなっている。昨年から新しく就任した管理者がつくる雰囲気が、利用者・家族にとっては大きな安心材料だろう。

特に改善の余地があると思われる点

併設の3つのグループホーム合同で実施していた恒例のホームの祭りを“寿祭”と改名し、更にパワーアップしたと聞いた。意欲的な取組みが頼もしい。ホームは地域や家族との交流をより深めたいと考え、今は各ホーム単独で実施している家族会を、3つのグループホーム合同の家族会にしようかと検討中だそう。せっかく3つのグループホームを併設しているのだから、その利点を活かし、利用者同士・家族同士の交流促進は歓迎されそう。現状に満足する事なく、どんどん深化、研鑽して、地域の認知症啓蒙のリーダーとして活躍される事を期待している。

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：理念をより具体的に示し、それを日々の行動に活かせるよう「基本的態度」や「接遇6大用語」として職員に伝えている。常に理念を念頭に置いて業務に携わり、実現に向けて努力できているので、改善項目は特にない。</p> <p>2. 全体的に見て…：理念は、尊厳・選択の自由・個別ケア。認知症の病気でそうなっているだけなのだから、人生の先輩に教えていただく気持ちを大切に、人間としてその人らしい生活ができるよう、こちらの都合を押し付けず、利用者ペースで過ごしてもらおうと、管理者はいつも職員に伝えている。ホーム開設時に代表者と相談しながら理念を作成した統括管理者は、今も継続してずっとホームの運営に携わり、理念は全体に周知・徹底できている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：ホームは同一母体法人のグループホームや病院。通所リハビリテーション施設等と併設され、道路近くに立地している。ハード面において、改善できる事に限界はあるが、法人内での相互援助力を活かしながら利用者の重度化に対応していこうと考えている。プラス面に目を向けて、より良いサービスを提供しようとする姿勢は高く評価できる。</p> <p>2. 全体的に見て…：介護保険制度発足以前に老人の為のアパートを想定して造られた建物は、各部屋トイレ・流しが完備し、1階と2階の居室に分かれている。重度化した利用者は1階フロアに移り2階住人はエレベーターで移動する。職員はリビングのモニターテレビで2階の状態を把握しながら階段を昇降する。リビングの狭さが逆に家庭的雰囲気を出し、1・2階の移動が生活に変化を与えているのは興味深い。プラス発想が良い結果を生んでいる。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることに配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：ホームは、利用者の日常生活全般において、より深い支援を目指しながら、介護計画を職員間で共有し、日々のサービスに活用していく方法を検討したいと考えている。介護計画を常に念頭に置いて、それに基づいた支援を展開するのは、とても大切に意義がある事だと考える。是非取り組んでほしい。</p> <p>2. 全体的に見て…：「今日は広場で市がありますよ。行ってみますか？」職員に言われたAさんは「一緒に行く？」隣の席のBさんに声をかける。じつとつむいたままのBさんが、かすかに頷いたように見える。「行く言うてる」Aさんが代わりに返事してくれる。「じゃあ、ちょっと口紅つけ直して」Aさんはいそいそ部屋に戻った。開設して7年目、利用者の重度化は避けられないけれど、馴れ親しんだ仲間と一緒に互いを思いやりながら助け合い、その人らしく生活できていた。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：母体法人の理解を得ながら、代表者・統括管理者・各ホーム管理者・職員の各自の業務体制基盤がしっかり整っている。何かあればその都度全体で検討し、対応できている。ホームは運営推進会議をうまく活用し、地域や市町村との連携を深めていこうと考えている。地域貢献できる実績と実力のあるホームなので、大きな成果が期待できそう。</p> <p>2. 全体的に見て…：毎週近くの広場で開かれる地元の市に、利用者は職員と一緒に歩いて行く。昔農業をしていた人は「わあ、野菜で商売してる。うちに帰れば一杯あるよ」と歓声をあげ、最後の1個のあん餅を買って大満足の人もいる。「覚えとる？ よう車に乗ってあちこち買物に行ってたんだよ、知り合いの人が話しかけてくれる。格好の地域交流の場となっている。今年度は更に地域の触れ合いサロンにも出掛けしていると聞いた。どんどん活動の場が広がっているのは心強い。</p>		